

みんなで やらいや 未来づくり ～「活力 あんしん 鳥取県」を目指して～

1. はじめに

「鳥取県」と言えば「鳥取砂丘」。御存じの方も多いかと思いますが、「鳥取砂丘」は起伏が激しく、高低差が日本一であります。実はそのほかにも当県にはたくさんの日本一があります。

観光地で言えば、「三朝温泉」はラジウム含有量が日本一であります。さらに、「カニの水揚げ量」、「軽自動車普及率」、「男女平等度」、「窃盗犯検挙率」などもあります。人口も日本一少ない県であります。このようにいろいろな日本一があります。現在、「みんなでやらいや（やろうや）未来づくり」を合い言葉に鳥取力創造運動を展開しており、実は、ボランティア活動の行動参加者率も日本一（※総務省統計局 『社会・人口統計体系』（2008）調べ）となっています。

鳥取力創造運動では、住民それぞれが地域の問題に関心を持ち、さらには参画し解決に取り組む自助を原則としつつ、共助、公助との連携を図るとともに、住民やNPO、活動団体、企業等の組織と行政組織の互いの特性や違いを理解しながら、対等な関係で取り組むことを目指しています。

鳥取力創造運動の取り組みの一つとして、ボランティアや住民・地域、活動団体、NPO、企業、行政等が互いに協議・連携した取り組みを推進しています。

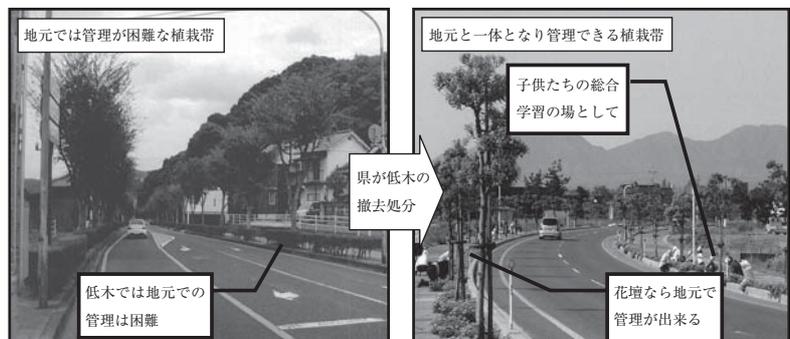
一言にボランティアといっても、福祉、教育、文化、スポーツ、環境、その他さまざまな活動があります。その中で、公共施設に関するボランティアも近年盛んになってきています。そこで、今回は、当県の公共土木施設に関する新たなボランティア活動とその支援策について紹介させていただきます。

2. これまでの経緯

草刈りや清掃活動といった公共土木施設の維持管理活動は以前から行われてきており、県としても、活動を行っているボランティア団体に対し、「奨励金の交付」や「業務委託」、「地域が育む河川保全事業」、「植栽柵オーナー制度」などの支援・助成等を行ってきていました。そして、平成20年度に、これらの制度を統合・拡充し、「鳥取版河川道路ボランティア促進事業」として、各団体への支援を行い、活動の促進を図ってきました。

この事業を立ち上げた成果もあり、ボランティア活動を行う団体数は年々増えてきています。これらの団体の中には、美化活動のみではなく、その場所を利用した地域づくり活動などを行う団体も出てきました。

このため、「公共空間を利活用して行う地域づくりや賑わい創出を目的とした土木施設の維持管理活動を年間通して計画的に実施する団体」の活動を支援し、地域を活性化するために公共土木施設の利活用の促進を図ることを目的として、平成22年度に「スーパーボランティア支援事業」を立ち上げました。



環境整備工事のイメージ

鳥取県知事 **平井 伸治**



3. スーパーボランティア支援事業概要

この事業では、現在までに10団体を認定しています。支援内容としては、活動場所の面積に応じた維持管理交付金に加え、活動場所の利便性向上などのために設置する簡易な施設のための補助金があり、活動場所をさらに使いやすくし、より一層活動の活性化が図られるようにしています。

また、団体、県に加え市町村にも協定に入っただき、ゴミの処分や広報活動などの支援を行っていただくこととしており、団体、市町村、県の3者が一緒になり、地域の活性化へ向けた取り組みを行っています。この3者による協定期間は3ヵ年となっていますが、継続可能な取り組みとするためにも、また、より一層活動の活性化を促すためにも、引き続き連携を密にして支援を行うこととしています。

さらに、県内には同様の活動を行っている未認定の団体もあるため、積極的な参加の呼びかけや登録の働きかけを継続的に行うとともに、スーパーボランティア支援事業をより利用しやすい制度に改善して、認定団体数をさらに増加させていこうと考えています。

4. おわりに

河川道路ボランティアに期待することとして、まず、コスト縮減が思い浮かぶところかもしれませんが、ほかにも地域内の交流、防犯、青少年の健全育成、そして地域の活性化というようなさまざまな分野での取り組みとその効果が各地域に現れており、今後ともさらに拡大していくことを期待しています。

また、地域の住民が自ら維持管理作業などに携わるということで、公共土木施設への愛着がわき、

行政に対する苦情が減少したという事例なども出てきました。このように、県民、県ともに大きなメリットのある河川道路ボランティアは、Win-Winな関係を通じて、「活力 あんしん 鳥取県」を創るための一つの大きな力になっています。

最後に、当県は水木しげる氏、谷口ジロー氏、青山剛昌氏を始め、国内外で著名な漫画家を多数輩出しており、県としても「まんが王国とっとり」を掲げ、知名度向上や観光誘客に取り組んでいます。そのようななか、平成24年11月7日から同月11日まで2012年第13回国際マンガサミット鳥取大会（東アジア5地域（日本・韓国・中国・香港・台湾）を始めとして世界各国から約400名の漫画家が参加）が開催されることを契機に「国際まんが博」（平成24年8月4日～11月25日）を開催しています。この期間中さまざまなイベントも実施しており、漫画の魅力を存分に楽しむことができます。

また、県内には、水木しげるロード、青山剛昌ふるさと館など著名な漫画家に関連した施設もあります。この機会に、見どころ満載の「まんが王国とっとり」に是非お越しください。



©水木プロダクション©谷口ジロー/小学館©青山剛昌/小学館
国際まんが博 8月4日から11月25日まで